

貨物自動車運送事業の法令試験の結果について

標記について、下記のとおり報告します。

1. 実施年月日：令和5年5月22日（月）13：40～14：30
2. 場所：北海道運輸局（札幌庁舎）6階会議室
北海道運輸局函館運輸支局会議室
北海道運輸局旭川運輸支局会議室
北海道運輸局室蘭運輸支局会議室
北海道運輸局釧路運輸支局会議室
3. 受験者数：14者
（申請種別）一般新規12者、譲渡譲受等2者
4. 合格者数：12者
（申請種別）一般新規11者、譲渡譲受等1者
5. 不合格者数：2者
（申請種別）一般新規1者、譲渡譲受等1者
6. 合格率：85.7%
7. その他
 - ・最高得点は30点、最低得点は21点
 - ・平均得点は26.2点

一般貨物自動車運送事業の経営許可等の申請に係る法令試験問題

受験番号

申請者名（法人名）

受験者の氏名

（注意事項）

1. 事業者とあるのは、一般貨物自動車運送事業者を指します。
2. 設問の文中には、一部省略しているものもあります。

I. 次の問題1から20の記述のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を（ ）内に記入しなさい。

問題1（乗務等の記録）

事業者は、事業用自動車に係る運転者の乗務について、当該乗務を行った事業用自動車ごとに必要な事項を記録させ、かつ、その記録を1年間保存しなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ ）

問題2（事業計画）

国土交通大臣は、事業者が事業計画に違反していると認めるときは、当該運行管理者に対し、事業計画に従い業務を行うべきことを命ずることができる。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問題3（運行管理者等の選任）

事業者は、事業用自動車（被けん引自動車を除く。）の運行を管理する営業所ごとに、当該営業所が運行を管理する事業用自動車の数を30で除して得た数（その数に一未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとする。）に1を加算して得た数以上の運行管理者を選任しなければならない。ただし、5両未満の事業用自動車の運行を管理する営業所であって、地方運輸局長が認めるものについては、この限りでない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ ）

問題4（貨物の積載方法）

事業者は、事業用自動車に貨物を積載するときは、偏荷重が生じないように積載し、貨物が運搬中に荷崩れ等により事業用自動車から落下することを防止するため、貨物にロープ又はシートを掛けること等必要な措置を講じなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ ）

問題5（事業）

国土交通大臣が指定をした地方貨物自動車運送適正化事業実施機関は、輸送の安全を阻害する行為の防止その他貨物自動車運送事業法又は貨物自動車運送事業法に基づく命令の遵守に関し一般貨物自動車運送事業者に対する指導を行う。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問題6（下請代金の支払期日）

下請代金の支払期日は、親事業者が下請事業者の給付の内容について検査をするかどうかを問わず、親事業者が下請事業者の給付を受領した日（役務提供委託の場合は、下請事業者がその委託を受けた役務の提供をした日。）から起算して、50日の期間内において、かつ、できる限り短い期間内において、定められなければならない。（下請代金支払遅延等防止法）

（ ）

問題7（事業報告書）

事業者が提出すべき事業報告書とは、事業概況報告書並びに貸借対照表、損益計算書及び財務計算に関する明細表を指す。（貨物自動車運送事業報告規則）

（ ）

問題8（運転者）

事業者の運転者は、事業用自動車の乗務について、疾病、疲労、睡眠不足その他の理由により安全な運転をすることができないおそれがあるときは、その旨を乗務後に事業者に申し出なければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ ）

問題9（輸送の安全）

事業用自動車の運転者及び運転の補助に従事する従業員は、運行の安全を確保するため、国土交通省令で定める事項を遵守しなければならない。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問題10（事業計画）

一般貨物自動車運送事業を經營しようとする者は、事業計画を記載した申請書を提出しなければならないが、事業計画には営業所に配置する事業用自動車の種別ごとの数を記載する必要はない。（貨物自動車運送事業法施行規則）

（ ）

問題11（運行管理者の業務）

運行管理者が行う業務の一つとして、乗務員が休憩又は睡眠のために利用することができる施設を適切に管理することが挙げられる。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ ）

問題12（点呼等）

事業者は、事業用自動車の乗務を開始しようとする運転者に対し、点呼を行い、安全な運転をすることができないおそれの有無、及び自動車の点検の実施又はその確認について報告を求め、事業用自動車の運行の安全を確保するために必要な指示をしなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ ）

問題13（使用者の点検及び整備の義務）

自動車の使用者は、自動車の点検をし、及び必要に応じ整備をすることにより、当該自動車を保安基準に適合するように維持しなければならない。（道路運送車両法）

（ ）

問題14（事業計画）

事業者は、その業務を行う場合には、運転日報に定めるところに従わなければならない。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問題15（公衆の利便を阻害する行為の禁止等）

事業者は、一般貨物自動車運送事業の健全な発達を阻害する結果を生ずるような競争をしてはならない。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問題16（整備管理者）

自動車の使用者は、自動車の点検及び整備に関する実務の経験その他について国土交通省令で定める一定の要件を備える者のうちから、整備管理者を選任しなければならない。（道路運送車両法）

（ ）

問題17（輸送の安全に関する業務の管理の受委託）

事業用自動車の運行の管理その他国土交通省令で定める一般貨物自動車運送事業に係る輸送の安全に関する業務の管理の委託及び受託については、国土交通大臣の許可を受けなければならない。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問題18（名義の利用等の禁止）

事業者は、事業の貸渡しその他いかなる方法をもってするかを問わず、一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を他人にその名において経営させることができる。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問題19（事業の適確な遂行）

事業者は、健康保険法（大正11年法律第70号）等の定めるところにより納付義務を負う保険料等の納付その他の事業の適正な運営に関する事項に関し国土交通省令で定める基準を遵守しなければならない。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問題20（運行指示書による指示等）

事業者は、1週間ごとに、貨物自動車運送事業輸送安全規則に掲げる事項を記載した運行指示書を作成し、これにより事業用自動車の運転者に対し適切な指示を行い、及びこれを当該運転者に携行させなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ ）

Ⅱ. 次の問題21から30の文章の指示に従って、設問に答えなさい。

問題21 (定義)

貨物自動車運送事業の定義として正しいものを、次のア～ウの中から1つ選び、() 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法)

- ア. 自己の需要に応じ、有償で、自動車を使用して貨物を運送する事業
- イ. 他人の需要に応じ、有償で、自動車を使用して貨物を運送する事業
- ウ. 他人の需要に応じ、無償で、自動車を使用して貨物を運送する事業

()

問題22 (速報)

事業者は、その使用する自動車について、自動車事故報告規則で規定する速報の対象となる事故があった場合には24時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸支局長等に速報しなければならないこととされているが、その速報の対象となる事故として正しいものを、次のア～ウの中から1つ選び、() 内に記入しなさい。(自動車事故報告規則)

- ア. 2人以上の死者を生じた事故
- イ. 自動車に積載されたコンテナが落下した事故
- ウ. 無免許運転を伴う事故

()

問題23 (運送約款の記載事項)

貨物自動車運送事業法により、事業者が定める運送約款については、国土交通大臣の認可を受けなければならないが、運送約款に記載しなければならないと定められている事項として正しいものを、次のア～ウの中から1つ選び、() 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則)

- ア. 運賃及び料金の收受又は払戻しに関する事項
- イ. 紛争が起きた場合の管轄裁判所に関する事項
- ウ. 苦情処理体制に関する事項

()

問題24（病者の就業禁止）

次の条文中の【 】内にあてはまる語句を、次のア～ウの中から1つ選び、() 内に記入しなさい。（労働安全衛生法）

事業者は、伝染性の疾病その他の疾病で、厚生労働省令で定めるものにかかった労働者については、厚生労働省令で定めるところにより、その就業を【 】しなければならない。

- ア. 緩和
- イ. 制限
- ウ. 禁止

()

問題25（過労運転の防止）

事業者が常時選任しておかなければならない事業用自動車の運転者として選任してはならない者として正しいものを、次のア～ウの中から1つ選び、() 内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

- ア. 日々雇い入れられる者
- イ. 労働者派遣事業者から派遣された運転者
- ウ. 6ヶ月間の期間を定めて使用される者

()

問題26（運賃及び料金の届出）

事業者が運賃料金設定（変更）届出をする場合、届出書に記載しなければならない事項として正しいものを、次のア～ウの中から1つ選び、() 内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業報告規則）

- ア. 原価計算
- イ. 荷主の氏名又は名称及び住所
- ウ. 実施日

()

問題27（自動車に関する表示）

事業用の貨物自動車を使用する者が、その自動車の外側に見やすいように表示しなければならないと定められている事項について、正しいものを、次のア～ウの中から1つ選び、（ ）内に記入しなさい。（道路運送法）

- ア. 運転者の氏名、使用者の氏名及び連絡先
- イ. 荷主の氏名、名称又は記号
- ウ. 使用者の氏名、名称又は記号

（ ）

問題28（選任届）

次の条文中の【 】内にあてはまる語句を、次のア～ウの中から1つ選び、（ ）内に記入しなさい。（道路運送車両法）

大型自動車使用者等は、整備管理者を選任したときは、その日から【 】以内に、地方運輸局長にその旨を届け出なければならない。これを変更したときも同様である。

- ア. 七日
- イ. 十五日
- ウ. 三十日

（ ）

問題29（運行記録計による記録）

次のうち、事業者が運行記録計による記録と保存を義務づけられている事業用自動車として正しいものを、次のア～ウの中から1つ選び、（ ）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

- ア. 車両総重量が9トン以上又は、最大積載量が6トン以上の普通自動車
- イ. 車両総重量が8トン以上又は、最大積載量が5トン以上の普通自動車
- ウ. 車両総重量が7トン以上又は、最大積載量が4トン以上の普通自動車

（ ）

問題30 (目的)

貨物自動車運送事業法の目的として同法に記載されている事項として誤っているものを、次のア～ウの中から1つ選び、() 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法)

- ア. 貨物自動車運送事業の運営を適正かつ合理的なものとする事
- イ. 貨物自動車運送事業の過当な競争の防止に関する事
- ウ. 輸送の安全の確保と公共の福祉の増進に資する事

()

一般貨物自動車運送事業の経営許可等の申請に係る法令試験問題

受験番号

申請者名（法人名）

受験者の氏名

（注意事項）

1. 事業者とあるのは、一般貨物自動車運送事業者を指します。
2. 設問の文中には、一部省略しているものもあります。

I. 次の問題1から20の記述のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を（ ）内に記入しなさい。

問題1（乗務等の記録）

事業者は、事業用自動車に係る運転者の乗務について、当該乗務を行った事業用自動車ごとに必要な事項を記録させ、かつ、その記録を1年間保存しなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第8条第1項）

（正）事業用自動車ごとではなく、運転者ごとに記録させる。

（ × ）

問題2（事業計画）

国土交通大臣は、事業者が事業計画に違反していると認めるときは、当該運行管理者に対し、事業計画に従い業務を行うべきことを命ずることができる。（貨物自動車運送事業法第8条第2項）

（正）当該運行管理者ではなく、当該違反している事業者に対し、命ずることができる。

（ × ）

問題3（運行管理者等の選任）

事業者は、事業用自動車（被けん引自動車を除く。）の運行を管理する営業所ごとに、当該営業所が運行を管理する事業用自動車の数を30で除して得た数（その数に一未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとする。）に1を加算して得た数以上の運行管理者を選任しなければならない。ただし、5両未満の事業用自動車の運行を管理する営業所であって、地方運輸局長が認めるものについては、この限りでない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第18条第1項）

（ ○ ）

問題4（貨物の積載方法）

事業者は、事業用自動車に貨物を積載するときは、偏荷重が生じないように積載し、貨物が運搬中に荷崩れ等により事業用自動車から落下することを防止するため、貨物にロープ又はシートを掛けること等必要な措置を講じなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第5条）

（ ○ ）

問題5（事業）

国土交通大臣が指定をした地方貨物自動車運送適正化事業実施機関は、輸送の安全を阻害する行為の防止その他貨物自動車運送事業法又は貨物自動車運送事業法に基づく命令の遵守に関し一般貨物自動車運送事業者に対する指導を行う。（貨物自動車運送事業法第39条第1項）

（ ○ ）

問題6（下請代金の支払期日）

下請代金の支払期日は、親事業者が下請事業者の給付の内容について検査をするかどうかを問わず、親事業者が下請事業者の給付を受領した日（役務提供委託の場合は、下請事業者がその委託を受けた役務の提供をした日。）から起算して、50日の期間内において、かつ、できる限り短い期間内において、定められなければならない。（下請代金支払遅延等防止法第2条の2第1項）

（正）50日ではなく、60日の期間内である。

（ × ）

問題7（事業報告書）

事業者が提出すべき事業報告書とは、事業概況報告書並びに貸借対照表、損益計算書及び財務計算に関する明細表を指す。（貨物自動車運送事業報告規則第2条第2項）

（ ○ ）

問題8（運転者）

事業者の運転者は、事業用自動車の乗務について、疾病、疲労、睡眠不足その他の理由により安全な運転をすることができないおそれがあるときは、その旨を乗務後に事業者に申し出なければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第17条）

（正）乗務前に申し出なければならない。

（ × ）

問題9（輸送の安全）

事業用自動車の運転者及び運転の補助に従事する従業員は、運行の安全を確保するため、国土交通省令で定める事項を遵守しなければならない。（貨物自動車運送事業法第17条第5項）

（ ○ ）

問題10（事業計画）

一般貨物自動車運送事業を営もうとする者は、事業計画を記載した申請書を提出しなければならないが、事業計画には営業所に配置する事業用自動車の種別ごとの数を記載する必要はない。（貨物自動車運送事業法施行規則第2条第1項）

（正）営業所に配置する事業用自動車の種別ごとの数を記載しなければならない。

（ × ）

問題11（運行管理者の業務）

運行管理者が行う業務の一つとして、乗務員が休憩又は睡眠のために利用することができる施設を適切に管理することが挙げられる。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第20条第1項）

（ ○ ）

問題12（点呼等）

事業者は、事業用自動車の乗務を開始しようとする運転者に対し、点呼を行い、安全な運転をすることができないおそれの有無、及び自動車の点検の実施又はその確認について報告を求め、事業用自動車の運行の安全を確保するために必要な指示をしなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第7条第1項）

（ ○ ）

問題13（使用者の点検及び整備の義務）

自動車の使用者は、自動車の点検をし、及び必要に応じ整備をすることにより、当該自動車を保安基準に適合するように維持しなければならない。（道路運送車両法第47条）

（ ○ ）

問題 1 4 (事業計画)

事業者は、その業務を行う場合には、運転日報に定めるところに従わなければならない。(貨物自動車運送事業法第8条第1項)

(正) 運転日報ではなく、事業計画に定めるところに従わなければならない。
(×)

問題 1 5 (公衆の利便を阻害する行為の禁止等)

事業者は、一般貨物自動車運送事業の健全な発達を阻害する結果を生ずるような競争をしてはならない。(貨物自動車運送事業法第25条第2項)

(○)

問題 1 6 (整備管理者)

自動車の使用者は、自動車の点検及び整備に関する実務の経験その他について国土交通省令で定める一定の要件を備える者のうちから、整備管理者を選任しなければならない。(道路運送車両法第50条第1項)

(○)

問題 1 7 (輸送の安全に関する業務の管理の受委託)

事業用自動車の運行の管理その他国土交通省令で定める一般貨物自動車運送事業に係る輸送の安全に関する業務の管理の委託及び受託については、国土交通大臣の許可を受けなければならない。(貨物自動車運送事業法第29条)

(○)

問題 1 8 (名義の利用等の禁止)

事業者は、事業の貸渡しその他いかなる方法をもってするかを問わず、一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を他人にその名において経営させることができる。(貨物自動車運送事業法第27条第2項)

(正) 他人にその名において経営させてはならない。
(×)

問題 1 9 (事業の適確な遂行)

事業者は、健康保険法(大正11年法律第70号)等の定めるところにより納付義務を負う保険料等の納付その他の事業の適正な運営に関する事項に関し国土交通省令で定める基準を遵守しなければならない。(貨物自動車運送事業法第24条の4)

(○)

問題20（運行指示書による指示等）

事業者は、1週間ごとに、貨物自動車運送事業輸送安全規則に掲げる事項を記載した運行指示書を作成し、これにより事業用自動車の運転者に対し適切な指示を行い、及びこれを当該運転者に携行させなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第9条の3第1項）

（正）1週間ごとではなく、貨物自動車運送事業輸送安全規則第7条第3項に規定する乗務を含む運行ごとに作成等を行わなければならない。

（ × ）

Ⅱ．次の問題21から30の文章の指示に従って、設問に答えなさい。

問題21（定義）

貨物自動車運送事業の定義として正しいものを、次のア～ウの中から1つ選び、（ ）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業法第2条）

- ア．自己の需要に応じ、有償で、自動車を使用して貨物を運送する事業
- イ．他人の需要に応じ、有償で、自動車を使用して貨物を運送する事業
- ウ．他人の需要に応じ、無償で、自動車を使用して貨物を運送する事業

（ イ ）

問題22（速報）

事業者は、その使用する自動車について、自動車事故報告規則で規定する速報の対象となる事故があった場合には24時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸支局長等に速報しなければならないこととされているが、その速報の対象となる事故として正しいものを、次のア～ウの中から1つ選び、（ ）内に記入しなさい。（自動車事故報告規則第4条第1項）

- ア．2人以上の死者を生じた事故
- イ．自動車に積載されたコンテナが落下した事故
- ウ．無免許運転を伴う事故

（ ア ）

問題23（運送約款の記載事項）

貨物自動車運送事業法により、事業者が定める運送約款については、国土交通大臣の認可を受けなければならないが、運送約款に記載しなければならないと定められている事項として正しいものを、次のア～ウの中から1つ選び、（ ）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業法施行規則第11条）

- ア. 運賃及び料金の収受又は払戻しに関する事項
- イ. 紛争が起きた場合の管轄裁判所に関する事項
- ウ. 苦情処理体制に関する事項

（ ア ）

問題24（病者の就業禁止）

次の条文中の【 】内にあてはまる語句を、次のア～ウの中から1つ選び、（ ）内に記入しなさい。（労働安全衛生法第68条）

事業者は、伝染性の疾病その他の疾病で、厚生労働省令で定めるものにかかった労働者については、厚生労働省令で定めるところにより、その就業を【 】しなければならない。

- ア. 緩和
- イ. 制限
- ウ. 禁止

（ ウ ）

問題25（過労運転の防止）

事業者が常時選任しておかなければならない事業用自動車の運転者として選任してはならない者として正しいものを、次のア～ウの中から1つ選び、（ ）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第3条第2項）

- ア. 日々雇い入れられる者
- イ. 労働者派遣事業者から派遣された運転者
- ウ. 6ヶ月間の期間を定めて使用される者

（ ア ）

問題26 (運賃及び料金の届出)

事業者が運賃料金設定(変更)届出をする場合、届出書に記載しなければならない事項として正しいものを、次のア～ウの中から1つ選び、()内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業報告規則第2条の2)

- ア. 原価計算
- イ. 荷主の氏名又は名称及び住所
- ウ. 実施日

(ウ)

問題27 (自動車に関する表示)

事業用の貨物自動車を使用する者が、その自動車の外側に見やすいように表示しなければならないと定められている事項について、正しいものを、次のア～ウの中から1つ選び、()内に記入しなさい。(道路運送法第95条)

- ア. 運転者の氏名、使用者の氏名及び連絡先
- イ. 荷主の氏名、名称又は記号
- ウ. 使用者の氏名、名称又は記号

(ウ)

問題28 (選任届)

次の条文中の【 】内にあてはまる語句を、次のア～ウの中から1つ選び、()内に記入しなさい。(道路運送車両法第52条)

大型自動車使用者等は、整備管理者を選任したときは、その日から【 】以内に、地方運輸局長にその旨を届け出なければならない。これを変更したときも同様である。

- ア. 七日
- イ. 十五日
- ウ. 三十日

(イ)

問題29（運行記録計による記録）

次のうち、事業者が運行記録計による記録と保存を義務づけられている事業用自動車として正しいものを、次のア～ウの中から1つ選び、（ ）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第9条）

- ア．車両総重量が9トン以上又は、最大積載量が6トン以上の普通自動車
- イ．車両総重量が8トン以上又は、最大積載量が5トン以上の普通自動車
- ウ．車両総重量が7トン以上又は、最大積載量が4トン以上の普通自動車

（ ウ ）

問題30（目的）

貨物自動車運送事業法の目的として同法に記載されている事項として誤っているものを、次のア～ウの中から1つ選び、（ ）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業法第1条）

- ア．貨物自動車運送事業の運営を適正かつ合理的なものとする事
- イ．貨物自動車運送事業の過大な競争の防止に関する事
- ウ．輸送の安全の確保と公共の福祉の増進に資する事

（ イ ）